

第1学年 道徳科学習指導案

日 時 平成29年11月 2日(木) 3校時
児 童 1年1組 男22名 女 8名 計30名
授業者 瀧 本 真 理
特別支援 志 田 幸 子・鈴 木 育 恵

- 1 主題名 やさしくするって、気持ちがいいね【B 親切、思いやり】
- 2 教材名 「はしの上の おおかみ」(「みんなのどうとく1年 岩手県版」学研)
- 3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

新学習指導要領第1学年及び第2学年の内容の「B 主として人との関わりに関すること」の「親切、思いやり」は「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること」である。これは、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、相手に対する思いやりの心を持ち親切にすることに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。

低学年	中学年	高学年	中学校
身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

人との円滑な人間関係を築くためには、相手に対する思いやりや親切な心を持つことが基本となる。そのためには、自分の思い込みや自己満足のためではなく、相手の立場に立ってその心情を思い、自分のこととして受けとめることが大切である。そこで、入学して、さまざまな人とのかかわりが広がり、学校、学級での生活が身についてきている児童が、相手のことを考える温かい気持ちや親切な行為について考えられるようにしたい。そして、親切にした方もされた方も温かい気持ちになり、人間関係を和やかなものにしていけることに気づかせていきたい。

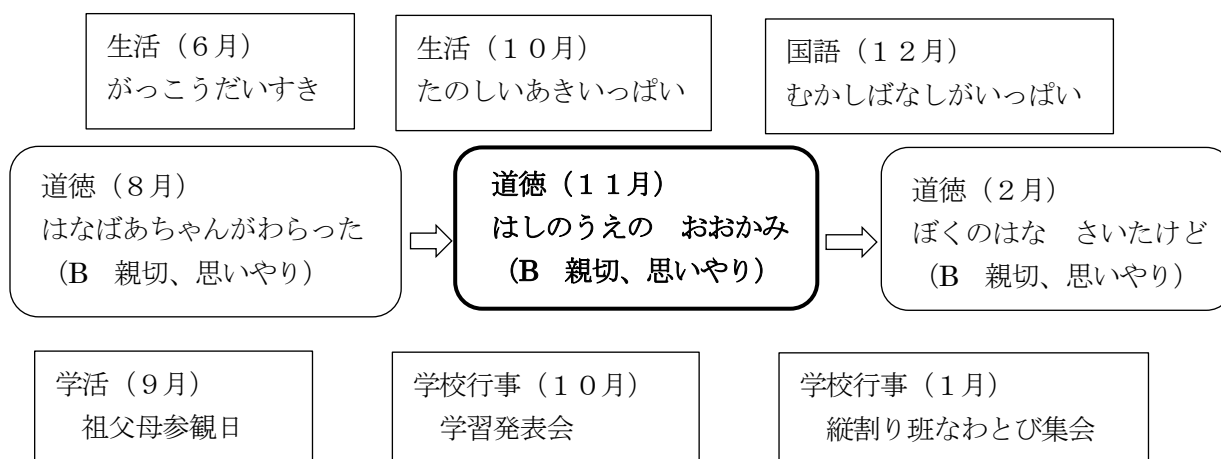
(2) 児童について

児童は、学校生活に慣れ、友達関係も広がり活発に遊ぶようになっている。また、縦割り班活動などを通して、上学年の児童と活動を共にするなど子どもたちの人間関係は広がってきている。日常の生活の様子を見ると、友達が困っていると声をかけたり、手伝ってあげたりするなど優しい気持ちももっている。帰りの会の「今日のきりり」の中では、友達に親切な行為をしたり親切にされて「ありがとう」の気持ちをもったりする意識が育ってきている。しかし、その一方で、遊びの中では自分の思い通りにしたい、自分が優位に立って相手に言うことをきかせたいといった気持ちが表れ、自己中心的な言動をしてしまう様子も見られる。このような実態から、相手の立場に立って考え、温かい心で接しようという気持ちを児童がもち、その気持ちを高めていけるよう指導をしていきたい。

(3) 教材について

本教材は、自分より弱い動物たちに意地悪をして面白がっていたおおかみが、強くて大きなくまに親切にされたことをきっかけに、親切にすることの素晴らしさに気づいていくという内容になっている。場面ごとに変化していくおおかみのものの見方、感じ方、考え方などに共感させることを通して、親切にすることの大切さに気づかせたい教材である。また、人に優しく接する態度は、自分にとっても快いことに気づかせることができる教材である。

4 主な教科等との関連



5 本時の指導

(1) ねらい

主人公「おおかみ」の言動や心の変化に共感させながら、人に優しく接することが相手や自分の心を温かくすることに気付かせ、誰に対しても親切にしようとする心情を育てる。

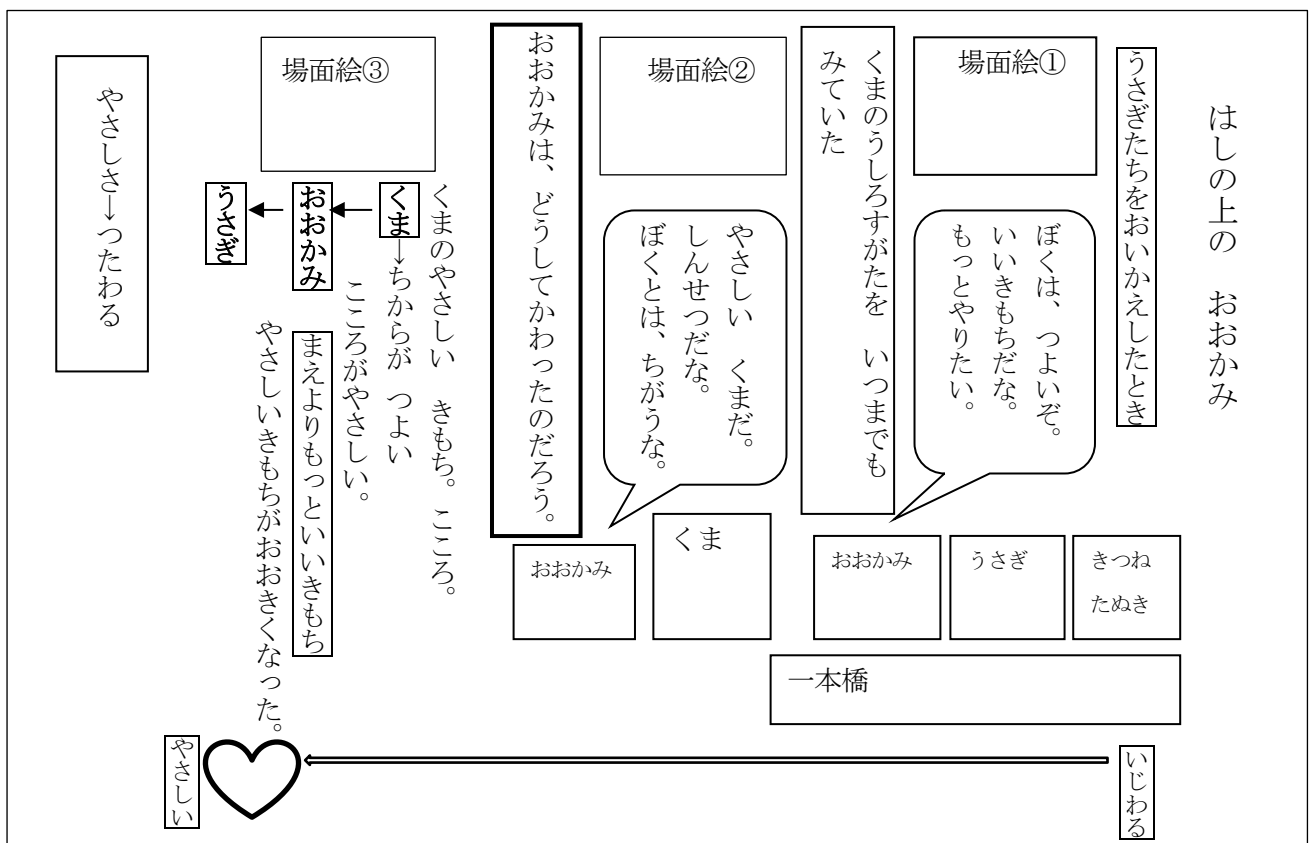
(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 3分	1 教材や価値への関心を高め、課題意識をもつ。 ○優しい人とは、どんな人だと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・遊んでくれる人。 ・困っている時に助けてくれる人。 ・意地悪をしない人。 ・心配してくれる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値にむけての方向付けをする。

展 開 前 段 35 分	<p>2 教材を基に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材を読み、最初と最後のおおかみの変化に気付かせることで課題意識を持たせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材の世界へと引き込むことができるよう、紙芝居を用いる。 最初と最後のおおかみの顔の絵を提示し、おおかみの表情の変化に気付かせる。
	<p>おおかみは、どうしてかわったのだろう。</p> <p>○うさぎたちを追い返したおおかみはどんな気持ちでしたか。</p> <p>○くまにそっと下ろしてもらった時、おおかみはどう思いましたか。</p> <p>○くまの後ろ姿を見ながら、おおかみは何を考えたのだろう。</p> <p>◎おおかみは、どうしてかわったのだろう。</p> <p>・うさぎをそっと下ろした時、おおかみはどんな気持ちになっただろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ぼくは強いんだぞ。 意地悪は楽しいな。 もっとやりたい。 優しいくまだ。 親切だな。 ぼくとは違う。 大きいのにどうしていばらないのだろう。 ぼくも優しくしよう。 うさぎさんたちに悪いことをしてしまった。 くまに優しくしてもらったから。 くまのまねをしたかったから。 くまの優しい気持ちがうつった。 自分もやさしいことをしたくなった。 前よりもいい気持ち。 うさぎを抱き上げて、もっとやさしい気持ちが大きくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 意地悪をして楽しさを感じているおおかみに共感させたい。 役割演技を通して、くまに親切にされた時のおおかみの心情に共感させたい。(くま役は、教師が行う。) 自分で考える時間をもった後、ペアで考えを伝え合わせる。全体の発表で多様な考えに気付かせたい。 補助発問として、くまの優しい心や行動についても考えさせる。 人に優しくすることの大切さや喜び、相手との関わりなどについて話し合うことで、ねらいに迫りたい。
	<p>【効果的な中心発問の設定】 ○登場人物の考えや判断、行為の理由を問う。 (場面発問)</p>	<p>【話し合いの工夫】 ○学習形態 ・隣同士や班(ペア) ○学習の進め方 ・考えを言い合う。</p>	
	<p>評価の方法 話し合いの観察、発言 評価の視点 おおかみの言動や心の変化に共感しながら、人に優しく接することが、相手や自分の心を温かくすることに気づき、親切にしようとする気持ちをもつことができたか。</p>		

展 開 後 段 5 分	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○今まで、誰かにやさしく親切にしてもらったこと、親切にしたことがありますか。これから、誰かが困っている時、どんなことができそうですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を忘れたとき、見せてくれた。 転んでけがをしたとき保健室に連れて行ってあげた。 優しくすると、自分もいい気持ちになる。 これからは、小さい子にも優しくしたい。 誰かが困っていたら、声をかけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの自分を振り返る。 今日学んだことを振り返らせ、うみねこノートに書かせる。
	<p>【自己を見つめる発問の設定】</p> <p>○具体的な価値(内容項目)を入れて問う発問</p>	<p>評価の方法 うみねこノートの記述</p> <p>評価の視点 身近にいる人たちに対し優しい心もち、親切にすることについて考えることができたか。</p>	
終 末 2 分	<p>4 今後の実践につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを交流し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞くことにより理解を深め、実践につなげる。

(3) 板書計画



(4) 教材分析図

教材名 「はしの上の おおかみ」(「みんなのどうとく1年 岩手県版」学研)

ねらい 主人公「おおかみ」の言動や心の変化に共感させながら、人に優しく接することが相手や自分の心を温かくすることに気付かせ、誰に対しても親切にしようとする心情を育てる。

場面	おおかみが、橋の上で、自分より小さい動物を通せんぼうしていじわるをする場面	おおかみがくまに出会って道をゆずろうとする場面	おおかみがくまに親切にされて橋を渡してもらい、いつまでもその後ろ姿を見ている場面	おおかみが親切になった場面
状況	<ul style="list-style-type: none"> 一本橋でうさぎを追い返したおおかみは、意地悪がおもしろくなる。 他の動物たちにも意地悪をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ある日、大きなくまが一本橋に立っている。 おおかみは、慌てて道をゆずろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 戻ろうとするおおかみを、くまは抱き上げて後ろにそっと下ろす。 おおかみは、くまの後ろ姿をいつまでも見送る。 	<ul style="list-style-type: none"> 次の日、おおかみは、一本橋の上でうさぎに会う。 うわぎは、慌てて戻ろうとする。 おおかみは、やさしく呼び止めて抱き上げ、後ろにそっと下ろしてあげる。 おおかみは、前よりずっといい気持ちになった。
登場人物の心の動き	<pre> graph LR A[ぼくは、強いぞ。] --- B[なんて、弱虫の動物たちなんだらう。] B --- C[意地悪は、面白い。] C --- D[大きなくまだ。どうしよう。] D --- E[強そうで。こわいな。] E --- F[道をゆずろうかな。] F --- G[優しいくまさんだな。] G --- H[なんて親切なんだらう。] H --- I[ぼくって意地悪だった。] I --- J[くまさんのようにすればよかった。] J --- K[いいことをしたなあ。] K --- L[親切にすると気分がいいな。] L --- M[これからはみんなに優しくしてあげよう。] </pre>			